



恒久平和を誓いました

戦後70年を記念し、戦没者の追悼と平和を祈念する「みやざき市民のつどい」が、8月13日に宮崎市民プラザで開催されました。つどいでは、兵舎が米軍の爆撃を受けた様子や原爆投下直後の広島を語り部が話したほか、朗読劇が行われました。また、各地域の遺族会会長などが戦没者へ花を手向け、出席した遺族会関係者や市内の小・中学生など約500人が、平和の尊さを見つめ直しました。

オリックス・バファローズ 2軍キャンプも決定!

8月24日、清武総合運動公園で行われるオリックス・バファローズの春季キャンプに、来年2月からは2軍も参加することが決定しました。読売ジャイアンツや福岡ソフトバンクホークスと併せ、一つの自治体で3球団のキャンプを受け入れているのは全国でも宮崎市だけです。さらなる観客の増加と、経済効果の拡大が期待されます。



Miyazaki Topics

宮崎市 旬の話題 “みやとピ”

ピーチ・アビエーションが 宮崎就航

8月28日、関西国際空港を拠点とする格安航空会社(LCC)のピーチ・アビエーションによる「宮崎-関西線」が就航し、宮崎ブーゲンビリア空港で記念式典が行われました。関西空港からの第1便を、放水アーチで歓迎した後、宮崎入りした乗客には、オリジナルの記念品が配られました。今後、宮崎を20時発、関西を18時25分発で、毎日1往復、格安で運行されます。



新たに創業を目指す人を サポートします

8月17日、雇用創出と地域経済の活性化を図るため、創業を希望する人を支援するインキュベーションルーム「みやざき創業サポート室」を高千穂通りにオープンしました。選考により決定した創業希望者が無償で事務所を使用することができ、常駐する専門家から経営指導などのアドバイスも受けることができます。

↓ 昭和31年10月号が電子書籍で読める!



※QRコードの読み取りには、アプリ「QR・JANコード読み取りバーコードリーダー」を推奨しています。

今回の旅行先 昭和31年

「動く公民館 “みどり号”」って?

今月発掘するのは、昭和31年10月号の「動く公民館“みどり号”」です。当時、公民館の数や設備が十分でなかったことから動く公民館の運営がスタート。バスの中で図書の貸し出しや料理講習、夜には映画館として上映会が行われていました。少しずつ形を変えながら、現在は移動図書館車として宮崎市内を走る“みどり号”。今回はみどり号に乗車して各地を巡回している、宮崎市立図書館の竹井智美さんに話を聞きました。



みどり号は、現在市内34か所の福祉施設を中心に図書の貸し出しを行っており、子ども向けの絵本から年配の人も読みやすい大活字の本まで約2500冊をそろえています。各施設を月に一度、訪問するのですが、楽しみに待っていてくださる人も多くうれしいですね。また、図書館までなかなか行けないという人のために、ブックライナー(配本サービス)も行っています。インターネットや近くの公民館で予約を行えば、図書館から指定した公民館へ本が届くシステムとなっていますので、ぜひ活用してください。



本を手にとってゆっくり選べます



みどり号による巡回貸し出しは登録制です。詳しくは、市立図書館(☎52-7100)まで。

司書: 竹井智美さん

地名むかしむかし 2015 ⑤ 「たちばな」

昭和35年4月号から1年間連載されていた「地名むかしむかし」。市内のいろいろな地名の由来を当時の文章のままお届けします。

昭和35年9月号より



当時の橘地区

宮崎市にみると橘橋から橋通りをはじめ、デパートにもタクシーにも、その他あらゆるものに橘の名がついている。これは今さらいうまでもなく古代の「筑紫の日向の橘の小戸のアワキガ原」の名に由来するものである。このアワキガ原(阿波岐原はイザナギノミコトがミンギハライを行なわれしかもここでアマテラス大神、スサノオノミコト、ツキヨミノミコトの三貴神が生まれたというので有名である。「中略」さて、この橘という植物は相橋の一種で、皇居の紫宸殿の階下の西側にある右近橋が有名である。この樹は垂仁天皇のみ代に田道間守に命じて常世国から採って来らせられたもので、それで田道間花がたちばなにつまったものといわれている。